

第9回 総合特別区域計画の概要

番号	特区の名称	申請主体名 (地方公共団体名)	特定事業名 (金融)
新規計画 2件			
1	先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区	徳島県	<地域活性化総合特区支援貸付事業> ・糖尿病対応医薬品・医療機器開発等
2	地域の“ものづくり力”を活かした「滋賀健康創生」特区	滋賀県	<地域活性化総合特区支援貸付事業> ・生活習慣病予防対応医療機器開発等

【地域活性化総合特区】 先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区【徳島県】

救命救急センターを研修の場とする体制整備
研修医の地域定着=若手医師育成の全国モデル

医師確保対策
医療の質の向上

糖尿病患者の減少
社会的コストの削減

世界レベルの研究開発臨床拠点の形成

医療交流の推進

【地域医療再生】

県立中央病院 — 徳島大学病院

総合メディカルゾーン本部

【糖尿病克服】

遺伝子要因 → 内臓脂肪蓄積 → 脂質異常 → 高血糖 → 高血圧 → 血管障害 → 細小血管障害 / 動脈硬化症

環境因子 (内臓脂肪CT, FMD検査)

SNPチップ 遺伝子解析

尿検査 (アルブミン)

徳島の糖尿病健診

目標 「地域医療の再生」と「糖尿病の克服」により先導的な地域医療の活性化を図る

【期待される効果】
○5年後の経済効果・・・123億円 (※間接効果額等含む)
○5年後の新たな雇用・・・1,200人

政策課題	解決策	新たな規制の特例措置などの提案
<p>政策課題1</p> <p>○地域医療の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の地域偏在 (県東部に75%の医師が集中) 診療科偏在 (救急、産科、小児科等医師不足) 	<p>解決策1</p> <p>○医師の養成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳大病院と県立中央病院連携による「総合メディカルゾーン本部」充実強化 「寄附講座」等による地域への医師派遣と「地域枠」による確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つの病院を一体とみなした医師の相互派遣 ○2つの病院を一体とみなしたPET検査薬の供給 ○2つの病院を一体とみなした受託可能な検査業務の範囲拡大 など
<p>政策課題2</p> <p>○糖尿病の克服</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病死亡率全国ワースト1 H5~H18 14年連続 H20~H23 4年連続 	<p>解決策2</p> <p>○世界レベルの糖尿病研究開発臨床拠点形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病研究体制の充実 研究成果の県民への還元 新たな医療交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人研究者の在留期間の規制緩和 ○糖尿病関連治療薬の承認手続きの規制緩和等 など

地域独自の取組

- 救命救急医療の充実
ドクターヘリの導入や設備の強化
- 世界に通用する糖尿病関連の研究開発
製品クラスターやサービスクラスターの形成
- 糖尿病予防に重点を置いた「県民総ぐるみ運動」

地域協議会参画団体

(自治体関係者) 徳島県
(民間企業) 公益財団法人とくしま産業振興機構 及び健康・医療クラスター参画企業(65社)
(大学、研究機関等) 徳島大学、徳島大学病院

【地域活性化総合特区】

地域の“ものづくり力”を活かした「滋賀健康創生」特区 【滋賀県】

医療・健康管理機器開発・事業化推進事業

●医療・健康管理機器の開発プロジェクト構築

・医療現場のニーズや大学等の研究シーズに基づくプロジェクト構築

しが医工連携ものづくりネットワーク (131社、2014.1現在)



●医療・健康管理機器の開発・事業化

・健康づくりに寄与する医療・健康管理機器の開発・事業化

【開発例】
感染症検査装置 デスクトップ型血液検査装置(開発中)



●医療・健康管理機器の評価

・医療・健康管理機器の活用効果の臨床研究・実証評価

県立成人病センター 滋賀医科大学



健康支援サービス創出推進事業

受診のきっかけづくり

●健康づくりのきっかけの提供
・手軽な健康指標測定サービスの提供による健康意識の向上



生活習慣改善の実践

●生活習慣改善の実践指導
・保健指導サービスの充実による行動変容へのモチベーション向上



自立した健康づくり

●自律的な健康づくりの支援
・健康づくりを支え守る社会環境整備と健康支援サービスの提供



●健康支援サービス運用・評価部会による地域の健康づくりのサポート
・地域の“健康づくり”を医療・学術面から指導・評価



いきいきと健康に暮らす社会の実現



目標

急速に進む高齢化や生活習慣病の増加、それらに伴う医療資源不足に備え、“治療から予防への転換”に寄与する医療・健康管理機器の開発と健康支援サービスの提供という新たな地域モデルの構築を通して、地域住民の生活習慣病予防と健康づくりへの取組を促進し、地域経済の持続的発展と、県民がいきいきと健康に暮らす社会の実現を目指す。

【期待される効果】

- 5年後の経済効果・・・140億円
- 5年後の新たな雇用・・・580人

政策課題

政策課題

○急速に進む高齢化や生活習慣病の増加、それらに伴う医療資源不足に備え、“治療から予防への転換”を図るための新たな仕組みづくりが必要

- ①生活習慣病予備群の早期発見と生活習慣改善のためのきっかけの提供
- ②保健指導における生活習慣改善の実践のための支援策の提供
- ③自己管理下での生活習慣改善の継続のための支援策の提供

解決策

解決策1

- 医療・健康管理機器の開発・評価支援プラットフォームの整備
- ・生活習慣病予防や健康づくりに寄与する医療・健康管理機器の開発の推進
- ・プロジェクト構築、研究開発、実証評価に対する支援環境の整備

解決策2

- 健康管理機器を活用した新たな健康支援サービスの提供
- ・生活習慣病の早期発見と行動変容を促す健康支援サービスの開発と提供
- ・健康づくりの医療・学術面からの分析・評価のためのプラットフォームの整備

新たな規制の特例措置などの提案

- PMDAにおける事前面談の日程調整期間の短縮
- 医療・健康管理機器の開発と事業化のための財政支援
- 医療・健康管理機器の開発・評価支援プラットフォーム整備への財政支援 等

- 薬局等での血液検査サービスに対する衛生検査所の適用除外を可能にする特例
- 自己血液検査試薬の健康管理を目的とした販売を可能にする特例
- 健康支援サービスの創出のための財政支援 等

地域独自の取組

- しが医工連携ものづくり産学官連携拠点
- しが医工連携ものづくりネットワーク(131社)
- 医工連携ものづくりプロジェクト創出支援事業
- 生活習慣病予防戦略推進事業
- 滋賀県版国民健康保険保健指導事業管理ガイドライン
- すこやかチャレンジ事業 等

地域協議会参画団体

- 民間企業： しが医工連携ものづくりネットワーク、滋賀経済産業協会、滋賀医療機器工業会
 医療関係： 滋賀県医師会、滋賀県薬剤師会、滋賀県立成人病センター
 大学： 滋賀医科大学、立命館大学、龍谷大学、長浜バイオ大学、滋賀県立大学
 金融機関： みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、大垣共立銀行、滋賀銀行、京都銀行、関西アーバン銀行、滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、湖東信用金庫、京都信用金庫、京都中央信用金庫、商工組合中央金庫、滋賀県信用組合(金融機関コード順)
 自治体・支援機関： 滋賀県、大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、滋賀県産業支援プラザ